

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート すいっち		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2026年 1月 31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人、保護者、訪問先と繋がり、協力して支援を行っていること。	本人、保護者、訪問先と繋がることで本人の困りごとを共有でき、連携した支援を行っている。それぞれの場所での本人の様子を共有しあうことで、支援を充実させている。	保護者と訪問先を交えた意見交換会を定期的に行い、中期、長期的な支援について共通の認識をもてるようにする。
2	本人の学校での様子を保護者にフィードバックしていること。	訪問支援終了後に、メッセージアプリで学校での様子や支援内容を詳しく報告している。保護者も学校での様子を把握することができ、子どもの成長を実感できている。	保護者からの要望があった場合は、メッセージアプリだけではなく、連絡帳など他の媒体でのフィードバックにも対応する。
3	子どもと信頼関係のできている職員が支援に当たることで、本人が安心して授業を受けられること。	放課後等児童デイサービスでかかわっている職員が訪問支援に従事している。慣れている職員が支援に当たることで、抵抗なく授業に参加することができている。	子どもが訪問支援に対してより前向きになれるように、支援前後や支援中の声かけや、教材教具の工夫をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援についてあまり知られていないこと。	保育所等訪問支援の制度を存じていない保護者が多い。	お便りやHP、SNS等に保育所等訪問支援の様子を掲載し、保護者に周知していく。
2	タイミングによって、希望の曜日や時間に沿えない場合があること。	新規の利用希望や利用日数を増やしたいという子ども・保護者が増えている。	求める療育の方向性を保護者と確認し、曜日や時間帯を調節したり、場合によってはニーズに合う姉妹事業所を案内するよう取り組んでいく。
3			